



環境公共 通信

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共



第7号 平成22年11月
発行／環境公共推進会議事務局
〒030-8570 青森市長島1-1-1
青森県農林水産部農村整備課内
TEL 017(734)9545 FAX 017(734)8153

～ 「環境公共」の取組強化 ～

県では、農林水産業が支える自然、景観、文化の保全・継承や持続可能で循環型の農林水産業の実現などを旨し、「地域力の再生」「農林水の連携」「環境の保全・再生」といった「3つの方向性」に基づき、「環境公共」の取組を拡大してきました。

県内では、農林水産業の公共事業の実施地区において、「地区環境公共推進協議会」が順次設立されていますが、今後、農業・林業・水産業分野間の連携や環境の保全・再生をより一層進め、各地区において「3つの方向性」をすべて兼ね備えることを目指し、「環境公共」の着実な取組を進めていきます。



■県内の「環境公共」取組レポート

のさき 野崎地区（上北郡七戸町） ～ 生き物が棲む環境の保全に向けた取組 ～

1 地区の概要

七戸町の南東に位置する野崎地区では、地域内の農業用排水路を流れる水が大雨のたびにあふれ、周辺の農作物に被害を及ぼしてきたことから、農業者が安心して営農を行うことができるように、平成21年度から県営事業により水路の整備を行っています。整備に先立って設立された、町内会や土地改良区等から構成される「野崎地区環境公共推進協議会」では、排水路内の生き物調査を行ったところ、ヤマメ、ドジョウなどの魚類や、カワニナ、ヤゴなどの多様な生き物が生息していることを確認しました。このため、協議会ではこうした環境を保全しつつ、工事を進めていく方法などについて話し合いました。



水田の湛水状況

2 地元の小学生を招いて生き物見学会を開催



捕獲作業を見学する子供たち

子供たちは、捕獲されたヤマメ、モツゴなどの魚類や、ヤゴ、カラスガイなど、100匹以上の魚類や昆虫、生き物を実際に手に取って、楽しそうに観察していました。捕獲した生き物や地域の環境

話し合いの結果、本協議会では、工事を行う前に排水路内に生息している生き物を捕獲し、一時移動させる作業を行うことにしました。当日は、本協議会の構成員である七戸町立天間東小学校から、生き物の捕獲作業を見学してほしいとの要望があり、3、4年生が現地を訪れました。

子供たちは、捕獲されたヤマメ、モツゴなどの魚類や、ヤゴ、カラスガイなど、100匹以上の魚類や昆虫、生き物を実際に手に取って、楽しそうに観察していました。捕獲した生き物や地域の環境に関する授業も行われ、自分たちが住んでいる地域にも多くの生き物が生息していることに驚いた様子でした。



手に取って観察する子供たち



授業の様子

3 今後の取組

今後、排水路の改修と併せて、多様な生き物を観察できる広場が設置される予定であり、本協議会では、この広場の効果的な利活用や効率的な維持管理方法についての話し合いを行っていくこととしています。